

宿 建 第 3 0 7 号

平成 2 0 年 1 0 月 1 5 日

国土交通省道路局長 殿

高知県宿毛市長



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

標記について、平成 20 年 9 月 19 日付け国道企第 37 号で依頼がありましたので別紙のとおり回答いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

様式 ①

高知県宿毛市

補助金事業で施行されている道路整備は、一定の設計速度・幅員等を規定した道路構造令を基に調査・設計されています。

中山間地域、漁業集落の多い宿毛市では、河川、海岸の地形に沿った昔からの道を車輛が通行可能な状態に拡幅、舗装した市道が大半であり、道路構造令の規定に沿った線形計画を行うと多額の事業費を要します。事業費に対する効果を問われる昨今、交通量の少ない道路に多額の公共事業は施行出来ませんが、緊急車両が円滑に通行できる道、安全に走行できる道を求める声が、多く聞かれます。

宿毛市は、このような現状を踏まえ、狭小幅員区間の拡幅、待避所の整備、見通しの悪いカーブの改良、道路法面の安定処理など、局部的な改良を施行できる補助金事業の充実を要望いたします。

○ 現状

宿毛市は、公共交通の整備が遅れている四国西南地域に位置し、現在も県庁所在地の高知市まで2時間半、高知龍馬空港まで3時間を要します。

人口は、昭和33年の32,645人をピークに減少し、平成20年10月現在 23,554 人となっており、人口減少・高齢化が進んでいます。

又、高度経済成長期を通じ建設されてきた、道路、橋、水道、公共建築物等の膨大な社会資本が、年数経過とともに老朽化しており、維持管理費や更新費が今後の財政に与える影響は大きい。

○ 課題

四国西南地域の道路整備の軸となる「四国8の字ネットワーク」の早期完成を求めているが、四国西南地域から高知市、愛媛県松山市の両市にも接続されていない。「四国8の字ネットワーク」の整備は、水産物、農作物の出荷における物流ルート拡大につながるものであり、整備の遅れは四国西南地域に大きな影響を与えている。

平成 7 年度策定の「高知県西南地方拠点都市地域基本計画」では、「職住遊学のバランスの取れた総合的生活空間の形成」をかげ、さまざまな事業を計画しているが、以前のように人口増を前提とした計画を見直す必要があり、高齢化社会に向けて施設のバリアフリー化や男性・女性がともに安心して子育てができる環境の充実等が必要である。

社会資本においても、人口増、景気拡大を前提に整備されてきた社会資本を今後どう維持管理、更新していくか、行政にとって大きな課題である。

今後の道路行政についての意見・提案

②-2 地域の目指すべき将来像

様式 ③

高知県宿毛市

宿毛市は、「人が輝き、自然がほほえむ元氣都市」をキャッチフレーズに、宿毛市振興計画を策定し様々な取り組みを推進しています。

道路整備計画では、「四国8の字ハイウェイの早期完成」、「県道の整備促進」、「交通安全整備を含めた快適な市道維持環境の整備」に努めるとし、市民が安全で快適な生活環境を確保するために、地域の実情に配慮した緊急時や災害に強い道路を目指します。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④

高知県宿毛市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上	自立的な発展に向け、宿毛市と他の地域との直接交流の促進を図るため、道路、湾港、鉄道等の幹線交通の総合的なネットワークを形成する。	事業中の港湾整備の供用により、四国西南地域における九州、近畿などの複合一貫輸送の結節点として、賑わいと潤いのある空間形成が期待される。	
・少子・高齢化社会に対応した子育て環境、バリアフリー社会の形成	施設のバリアフリー化や、男性・女性がともに安心して子育てができる環境の充実を図る。	高齢者の社会参加による活力ある地域を実現し、労働力人口の減少とそれに伴う経済活力の低下を軽減する。	
・計画的・効率的な維持管理や更新の推進	施設を予防保全する考え方にたった、計画的かつ効率的な維持管理を行う。	施設が、常に十分な機能を発揮するとともに、使命を終えるまでの間の総投資額を最小とする効果がある。	